

## 2020年度 第5回 IR 推進センター会議 議事録

日時：2020年8月4日（火）13：00～13：35 ※WEB 会議にて実施

出席者：15名

### 【構成員】

センター長 橋本修二

（医学部）飯塚成志、若月徹、藤江里依子（医療科学部）日比谷信、鈴木康司

（保健衛生学部）山田晃司（大学事務局）濱子二治、山本正樹、島向健太

### 【協力メンバー】

（看護専門学校）前田初美（広報部）河村孝司

（IT企画開発部）鴻上慶次郎（大学事務局）横田正明、濱島剛

欠席者：1名

### 【協力メンバー】

（看護専門学校）園井葉子

（敬称略）

### 1) 前回議事録の確認<資料1>

前回議事録が確認された。

「2020年度 医療科学部 IR 報告書—2019年度卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査（学生自己評価）—」と「2020年度 保健衛生学部 IR 報告書—2019年度卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査（学生自己評価）—」について、いずれも全学教学運営委員会で承認され、一般公開されると報告された。

### 2) 各分室活動報告<資料2>

- ・医学部 IR 分室より、「全国学生調査の分析」、「入試選抜方法の妥当性の検証」、「学生生活・学修実態調査」の進捗状況とスケジュールが報告された。「全国学生調査の分析」は医学部での検討後に、その結果が本会議に報告される。
- ・医療科学部・保健衛生学部 IR 分室より、「2019年度卒業生を対象とした学生の動向追跡調査分析」、「卒業生について各職種別のディプロマ・ポリシー到達度調査」、「学生生活・学修実態調査」、「医療科学部・保健衛生学部卒業後アンケート」、「GPA、成績分布状況及び進級率の分析」の進捗状況とスケジュールが報告された。
- ・看護専門学校より、「2020年度の学生生活・学修実態調査結果を踏まえた課題整理」が報告された。

### 3) 学生生活・学修実態調査の計画<資料3>

調査方針が再確認された。調査項目（共通項目）として、「基本属性」、「学生生活・学修実態の概要」と「学修の課題」の項目が確認された。「学修の課題」の項目の中で、授業方法の「主に英語で行われる授業（語学科目は除く）があった」を看護専門学校では除くこととした。カリキュラム・授業方法と施設・設備等の掲載事項は、両 IR 分室と看護専門学校の意見を考慮してまとめることとした。「生活の課題」の健康・悩み等の項目は共通項目に含めず、学部項目として各 IR 分室で検討することとした。次回の本会議で、詳細を決定する。

#### 4) 改革総合支援事業と教育の質に係る客観的指標〈資料4〉

IR活動に関係する項目として、改革総合支援事業のタイプ1の①、②、③、⑪、⑫、⑬、⑭が説明された。②IR機能強化では、研修会への講師派遣を前向きに検討することが確認された。教育の質に係る客観的指標の③、④-1、④-2、⑫、⑬、⑭が説明された。

■次回予定 日時 2020年9月1日(火) 13:00～

場所 未定

■次々回予定 日時 2020年10月6日(火)